

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】

『学び合い高め合う子どもの育成』

〔笑顔!〕〔習慣!〕〔学び合い!〕

Tel.0139-52-0524 Fax.0139-52-5489

## 変わること・変わらないこと

校長 白川 清久

同年代の知り合いと話をしていたとき、ある話題をきっかけに昔の遊びの話になった。陣取りにしても、缶蹴りにしても、友達と戦略を練ったり相談したりすることが勝つためには必要だった。また、細かいルールを巡ってもめることは日常茶飯事だった。いわゆる「群れ遊び」は戸外で行われ、一般的な「共通ルール」を人数や力の差に応じた「ローカルルール」に変えたりするために、話し合う必要があったのだ。「いいべや」「だめだって」「するいぞ」「わかった」「ん、そうするべ」…こんな言葉が「話し合い」を進めていた記憶がある。

ところが、放課後の「群れ遊び」は、今やほぼ消失したと言ってよい。原因はいろいろあると思うが、少子化や遊びのデジタル化など、子どもを取り巻く状況の変化が大きいだろう。

先日、某家電メーカーの社長さんが、巨額赤字の原因について、「変化への対応力の弱さ」という言葉を使っておられた。今の世の中、時代や状況の変化のスピードは上がる一方だ。その変化に合わせた柔軟な対応が求められるということだろう。学校もまた、時代の変化に合わせた対応が求められて久しい。世の中がどんなに変わろうとも変えてはならない不易は何だろうか。例えば、子どもに学力と社会性を身に付けさせること。人の気持ちがわかる思いやりのある人間になること。これらに異論を唱える人は少ないだろう。教育基本法前文では「人格の完成を目指し…」と述べられている。しかし、今の時代に必要な「学力」「社会性」「人を思いやる気持ち」の中身は、社会の変化に合わせて変わるはずだ。

「今日遊ぼう!」と言われて「ヤダ!」とか「ムリ!」とかじゃない断り方を学校で考えたり教わったりする時代になってきた。そんなこと、そもそも家で教えるべきことじゃないのかという声も聞こえてきそうだが、冒頭に書いたように、昔は遊びの中で自然に身に付いたことでも今は難しい。だから、人間関係の作り方も、言葉や態度というスキルとして身に付けられるようにしてやることも、時代の変化への対応だと考えている。

運動会の練習が始まって一週間が過ぎようとしている。子どもも保護者も数が少なくなり、時間も短くなりそうだが、盛り上がりや達成感が少なくなることをないように、「量より質の運動会」を目指して工夫しているところだ。子どもが無心で一生懸命に頑張る姿だけは、時代が変わっても変えてはいけない大切な宝物だ。



話し合い方を考える6年生国語の授業



# 防犯教室で学びました

元気いっぱいの1年生が、「防犯教室」で警察の方と一緒に不審者対策の学習をしました。「いかのおすし」の合言葉の意味を、順番に分かりやすく説明していただきました。また、測定器を使い、実際の声の大きさを測ってみて、遠くの人にも聞こえる声を実感しました。

不審者対策では、変だなと感じたら近づかないことが何より大切です。また、大きな声で叫んだり、子ども110番の家に駆け込んだりと、その場から素早く逃げることも大切です。

日も長くなり、外で遊ぶ時間も増えることと思います。防犯教室は毎年1年生が体験していますが、他の学年でも折に触れて指導します。犯罪に巻き込まれないよう、「いかのおすし」を意識して普段の生活に生かしてほしいと願っています。



## 《犯罪に遭わないための約束事！！》

- 知らない人には、ついて[いか]ない。
- 知らない人の車には、[の]らない。
- 危険を感じたら[お]おきな声でさけぶ。
- そして[す]ぐににげる。（近くの家に逃げ込む）
- 何があったのか、すぐに周りの大人に[し]らせる。



# 交通安全教室～自転車の乗り方・歩き方



自転車に乗れる子どもは増えていますが、学校周辺の道路は、狭かったり、急な坂になっていたり、歩道がなかったりと危険な箇所があります。今年は、警察と交通安全指導員の方々にご協力いただき、実際の自転車を使った「乗り方指導」を行いました。

1年生、2年生は、歩いて道路の渡り方などを学びました。3年生以上は、自

転車に乗って、停車中の車をよけるために、一時停止をしたり、横断歩道を渡ったりしました。実際に体験することで、気を付けなければならないルールなどを実感することができました。

交通安全教室で学んだことは是非生かしてほしいと願っています。特に自転車に乗るときは、悪ふざけをせず、周囲の様子に十分気をつけるよう、ご家庭でも声をかけていただければと思います。





# 収穫が待ち遠しいシイタケほだ木づくり



江差町げんきの森の活動「シイタケほだ木づくり」を5年生が体験しました。お店で売っているシイタケは何度も見たことがある子どもたちですが、どうやって栽培するのかを見ることはめったにないことです。とても貴重な体験であったと思います。

準備された木に、シイタケの菌を埋めていくのですが、金槌でたたいて埋めていくのは、子どもたちにとっても予想外だったようです。それでも、何度かやっているうちに手際よく打ち込んでいくことができるようになりました。たくさん埋め込んだシイタケの菌が、収穫できるまで、1年半はかかるのだそうです。収穫の楽しみは、6年生の秋ごろの予定です。



## 「落書き」について考えた全校集会



先週、檜山団地内のプレイロードに悪口が書かれた落書きが見つかりました。早速、児童会と教員とで消しに行きましたが、落書きは、先の鋭いもので傷をつけるように書かれていて、消すために大変苦労しました。その後、5月25日（月）に臨時の全校集会を開き、落書きについて考えました。

まず初めに、実際に落書きを消しに行った児童会の子どもたちから、「みんなで使うところは、きまりを守って使ってほしい。」「落書きは絶対やめましょう。」とそのときに思ったことや感じたことの発表がありました。

その後、校長先生からは、世界遺産に書かれた落書きや

旧校舎にある昔の落書きについても写真を見せながらの話があり、公共物や文化財を大切に扱うことにも触れました。最後に、子どもたちが手にすることがあるDSやスマホ携帯などでの書き込みは、世界中の見えない相手に広がっていくことの重大さも伝えました。

今回の落書きは消すことができましたが、消すことのできない落書きもあります。

自分たちの安心・安全な生活を自分たちで守っていけるよう、ご家庭と協力しながら指導を続けていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご協力をお願いします。

